



JR東労組東京

号外

2026.2.14



JR 東労組東京地本は

渋谷統括センター過半数代表者選挙に立候補した

やまざき あきひと

埼京乗務
ユニット

山崎 昭仁さん を応援します

JR 東労組東京地本は渋谷統括センター過半数代表者選挙に立候補した、山崎昭仁さんを応援します。山崎さんは職場の代表として出席する団体交渉の場で誰よりも熱く、組合員・社員をために会社と議論をしています。

～まだまだやるべきことはたくさんある。未完の埼京乗務ユニット～

- 職場には寝室が3部屋しかなく、自区泊まりや居流しでさえ、他職場の寝室を借りています。こんな乗務員職場はほかにどこにもありません。「工事なんて今更無理だ・・・」とあきらめることなく、寝室の増設などの設備改善の要求は、山崎分会長を筆頭に埼京運輸区分会が今でも会社に訴え続けています。
- 聞き取りが始まっている、「退勤点呼における労働時間の適切な管理」についても、山崎さんは団体交渉の場で職場現実を伝えてくれました。管理者の認識や発言について会社が再調査をするため団体交渉は中断していますが、今も議論は継続中です。おかしいと感じていても誰かが勇気をもって会社に訴えなければ現状は変わりません。山崎さんにはその勇気と使命感が備わっています。

～今の安全衛生委員会は本当に内容のある議論ができているのか～

山崎さんが埼京運輸区の代表として、安全衛生委員会に出席していた時と比較して、統括センター後の安全衛生委員会は開催時間が短いです。職場が大きくなったのになぜ時間が短くなっているのでしょうか？「一つ一つの職場について丁寧に議論できてるのか？」山崎さんは懸念しています。山崎さんが過半数代表者になれば、駅、乗務ユニットすべての職場について時間を割いてしっかりと議論してくれます。

過半数代表者には、これまでの実績と、自分よりも他者を優先して考えることができる山崎昭仁さんが最もふさわしいと考えます！